

街づくりのソリューション企業として、建設コンサルタント業界で存在感を高めている。震災復興関連業務で受注が高水準にある中、震災後を見据えた長期の視野で新たな戦略を練る。より強固な経営基盤を築く鍵は、海外展開と業容拡大だと指摘する。

——足元の経営環境をどう見る。

「東日本大震災の復興関連業務は、昨年度から発注が本格化している。来年度までは高水準の発注が続くだろう。当社は街づくりの専門家集団として、多くの仕事に関わっている。他社に比べ受注高に占める復興関連業務の割合は高いので、短・中期的には受注は

# 海外展開と業容拡大に注力

しげる  
茂氏

つじもと  
辻本  
オオバ



安定するだろう。しかし長 する中で経営を安定させる 期的な視点では楽観できる には、東南アジアを中心と 状況にはない。景気が変動 した海外の需要をどう取り

込んでいくか、街づくりの ナム、マレーシアへの進出 を考えたい。注目度が高ま っているミャンマーは、現 地への進出ではなく、留学 生を採用するなどして人的 なポイントになる」

——海外展開はどう進め たいか、この二つが大き

なポイントになる」

——中国・瀋陽市に現地法 人を置いているが、今後は 経済成長が著しいASEAN (東南アジア諸国連合) 各国での取り組みが課題に なる。まずはインドネシア 市場を視野に入れ、現地に 進出しているデベロッパ

——業容拡大にはどう取 り組む。

「これまででは、黒子に徹 する形で区画整理や再開発 などの街づくり事業でサー ビスを提供してきたが、リ

市場を視野に入れ、現地に 進出しているデベロッパ

——業容拡大にはどう取 り組む。

「これまででは、黒子に徹 する形で区画整理や再開発 などの街づくり事業でサー ビスを提供してきたが、リ

せば、プラスアルファのキ ャピタルゲインを得ること ができる。業容拡大を図る ポイントは会社の収益力 だ。当社の強みは民間企業

とのパイプの太さ。土地が 動けば必ずコンサル業務が 発生する。きめ細かい営業 活動を展開し、情報を集め ることが大切になる」

——他社との連携につい て考えを。

「パシフィックコンサル タンツとの提携は、プロポー ザル案件での共同提案など

具体的なきがが出つつあ る。被災地以外での連携に

も期待している。両社の関 係は決して排他的ではな

い。業容拡大につながるの である。他社との連携も

前向きに検討していく」。

(8月29日就任予定)

## 新社長

79年慶大商学部卒、海外石油開発入社。 87年三井信託銀行(現三井住友信託銀行) 入行、03年オオバ常勤顧問、05年執行役員 財務部長兼プロジェクト開発部長、06年取 締役、10年常務兼常務執行役員。東京都出 身、57歳。趣味は歌舞伎鑑賞で、10代目板 東三津五郎の後援会幹事も務めている。

79年慶大商学部卒、海外石油開発入社。 87年三井信託銀行(現三井住友信託銀行) 入行、03年オオバ常勤顧問、05年執行役員 財務部長兼プロジェクト開発部長、06年取 締役、10年常務兼常務執行役員。東京都出 身、57歳。趣味は歌舞伎鑑賞で、10代目板 東三津五郎の後援会幹事も務めている。